別紙様式３

学校運営協議会　会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第８条第１項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

１　会 議 名　　東濃特別支援学校　学校運営協議会　（第１回）

２　開催日時　　令和８年　６月２２日（月）９:００～１２：００

３　開催場所　　東濃特別支援学校　校長室
開催にあたり、委員による授業参観を実施した

４　参 加 者

会　　長	古田　秀人	中部大学　現代教育学部　特任教授
副 会 長	原田　美津留	ＮＰＯ法人　曖　理事長
委　　員	安藤　成義	河合地区自治会　（副区長）
	安藤　久	土岐織部ライオンズクラブ第一副会長
	渡邉　由香里	株式会社　バロー　人事採用部
	吉川　佳江	本校 PTA 会長
学 校 側	下野　誠司	校長
	井戸　勇心	事務部長
	三尾　葉子	教頭
	吉野　和博	教頭
	佐藤　綾子	小学部主事
	大宮　薫	中学部主事
	兼松　美穂	高等部主事
	池田　祐一	教務主任

５　会議の概要（協議事項）

（１）学校運営計画、教育方針等について
・学校教育目標、願う子どもの姿、学校経営方針、重点目標、教育課程について〈下野校長〉
＊学校運営、教育方針、教育課程について全委員より承認が得られた。

（２）学校概要
・学校概要、学校全体、各部の学習活動について＜吉野教頭、各部主事＞
＊学校概要学校について全委員より承認が得られた。

（３）学校預り金・団体徴収金概要について＜井戸事務部長＞
＊学校預り金・団体徴収金概要について全委員より承認が得られた。

（４）高等部作業製品の販売価格審査＜井戸事務部長・兼松高等部主事＞
・製品の現物を展示し、現物を確認する。

（５）学校見学　小学部、中学部、高等部の授業見学

（６）意見交流

・学校課題（現状）について＜下野校長＞

① 教育環境　　Ｒ４年４月に特別支援学校設置基準が決められたが、当校は充たせていない。来年度も児童生徒数が減る見込みは今のところない。

② 教育の質の向上　学校現場も、前年度と同じことをやっているばかりでは停滞する。学校生活の多くを、しめる授業の質を向上させる必要がある。今年度から、地域の学校間での授業交流研修を行う。センター研修などの学びの場はある。人材育成と育成するための人材の確保にむけて、企業等で取り組まれていることはあるか。

③ 働き方改革　　働き方改革と称して、学校としての本質（授業、子どもたちの活動）がおろそかになってはいけない。本質は大切にしつつ、事務仕事を効率的に行うことが求められている。事務効率をあげるために工夫されていることはあるか。

意見１　教育環境の整備について、先日の東京都の小学校の火事が、特別支援学校やこの学校で起こったらどうなるのか、どういう設備ならよいのかという点で改築を進めてもらえるとよい。

意見２　高等部の作業製品の質の高さに驚いた。授業で身に付けるマインドだけでなく、スキルがそのまま就労に活きるわけではないだろうが、そのスキルが少しでも就労に結び付く試みがあってもよいのではないか。

意見３　授業、作業学習での集中力はたいしたものだと感じた。協力できることはやっていきたい。

意見４　児童生徒のいきいきした様子が印象的だった。

意見５　職場で文章作成のためにAIを使おうとしても、不馴れな職員がいることも事実である。

意見６　学校で学んだことを、就労先でどのように生かしていくのかについて考えていきたい。

意見７　特別支援学校の生徒の実習を高等部１年生から３年生まで受け入れているが、1年でかなり成長した姿が見られる。授業見学の際に電車の学習など、生きるために必要なことを学習されているのがよい。

意見８　小学部から高等部までの授業参観を通して、小学部１年生から、12年後の成長した姿（高等部３年生）を見ると、この学校の意義が大きいと感じる。

意見９　教員の資質向上に向けて、地域の学校の先生や支援員の方々との交流の中で、見付けられることがあるのはないか。

６　会議のまとめ

・第１回学校運営協議会では、全委員より今年度の当校の学校運営基本方針について承認が得られた。
・高等部の作業製品価格について委員に意見を求め協議を行い、承認が得られた。
・学校として現状の課題となっていることについて報告し、今年度の取り組みについて説明した。得られた意見を委員と共有し、改善を図るため協議を行っていく。